

新・奥の細道

一周ルート

⑩

やまでら天台のみち

yamadera-tendai-no-michi



山形県

GUIDE

みどころ案内

平安時代中期、天台宗の教義を広めようと東北巡錫の旅にでた慈覚大師(円仁)はこの地を訪れ、宝珠山中の各寺院・仏閣を中心としながら弟子達と共に立谷川ぞいの段丘地に七院(南院、中院、千手院、山王院、馬形院、芦沢院、安養院)を建立し、それらを総称して立石寺と呼ぶようになりました。現在、七院のほとんどは地名・集落名としてその名を残していますが、それらの跡をたどり、慈覚大師が描いた壮大な仏国土を偲び、そして後に、この地を訪れて詠んだ松尾芭蕉の名句で、この山寺の雰囲気を感じることが出来ます。

日本こけし神社

Nihonkokesi-jinja

木地師の祖である惟喬法親王(清和天皇の兄)を祭神として、昭和50年に地元のこけし工人の石山三四郎氏の発願により建立されました。東北の名工の手によるこけしが数多く奉納されています。

※木地師...木を材料とし、ろくろを使い日用器物を作る人



薬師堂

Yakushi-do



米山円明院の御本尊の薬師如来を安置しています。円明院は立石寺の別院で貫主の隠居寺であったと伝えられています。現在、庵室は失われ薬師堂のみとなっています。

※庵室...僧侶などの住居

山寺芭蕉記念館

Yamadera-basho-kinenkan

松尾芭蕉の遺墨を中心に蕉門の墨跡、奥の細道関係資料を展示しています。展示室の映像コーナーでは芭蕉に関する映画を上映しています。また、芭蕉堂・観宝亭において茶会も開かれています。

◎利用案内 ◆開館時間/AM9:00~PM4:30
◆休館日/毎週月曜日
◆入館料/大人400円・高校生300円・小、中学生200円

後藤美術館

Goto-bijutukan

フランスバルビゾン派の絵画を中心に、ガレ、ドーム等のガラス工芸品・陶板画・ロダンの彫刻など、貴重なコレクションが多数展示されています。また、



◎利用案内 ◆開館時間/AM9:00~PM4:30
◆休館日/毎週月曜日 ◆入館料/大人800円・小人400円

立石寺・根本中堂

Risshakuji, kanpon-chudo

宝珠山立石寺は貞観2年(860年)に慈覚大師(円仁)によって開かれました。山腹の奇岩と杉木立のなかを縫って続く千百余段の石段を登って、奥の院(如法堂)に参詣し山容を眺める時、だれもがその静寂に満ちた世界に心洗われる思いがします。そして、根本中堂は東北唯一の宗門修業道場で、国の重要文化財に指定されています。御本尊の薬師如来は平安時代の作で日本七薬師の第五番となっています。これも国の重要文化財に指定されています。



根本中堂

千手院観音

Senjuin-kannon



慈覚大師が開山当時に建立した七院のひとつで、山寺開山の拠点となりました。現在は、最上三十三観音第二番札所としても信仰を集めています。周辺には散策路が整備されており、当時のおもかげを残す遺跡が数多く点在しています。

垂水不動尊

Tarumizu-fudoron

そびえたった柱状の岩の間をしたたりおちる小滝の中に不動尊がまつられており、奇岩・怪岩群とともに神秘的な独特の空間をつくりあげています。



しろいわないわ 城岩七岩

Siroiwa-nanaiwa

千手院観音から修験場までは散策路が整備されています。中でも城岩七岩それぞれからの眺めはまた格別です。城岩七岩のひとつである塩岩からは塩が自然にでており、かつてその塩で慈覚大師の病魔が退散したと伝えられています。

修験場跡

Shugenjo-ato

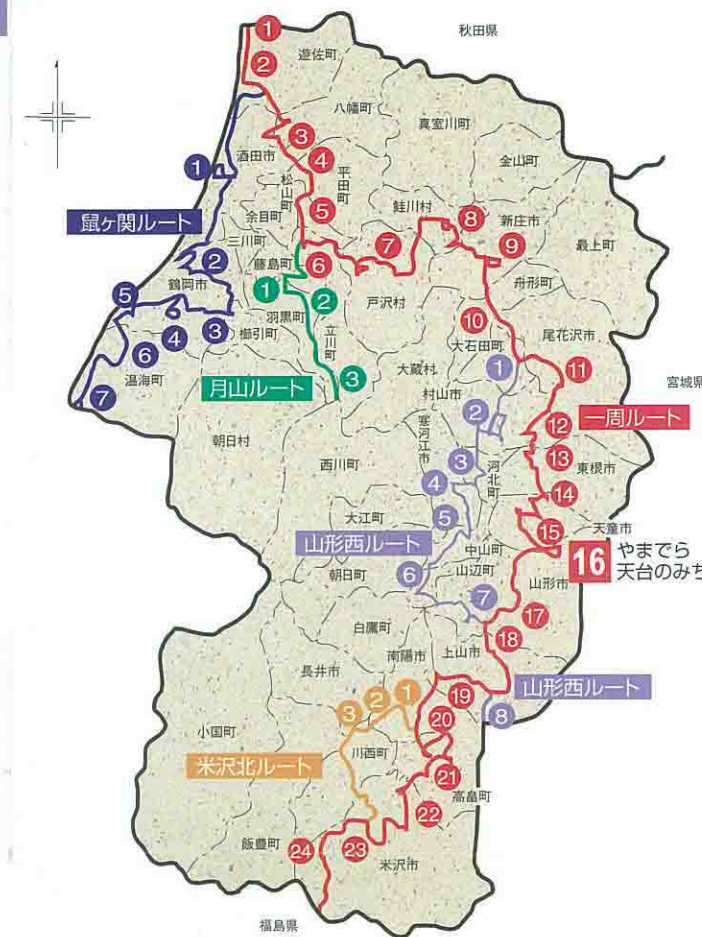
散策路を歩いていくと林の中の静かな修験場にたどりつきます。修業行者は、この修験場を中心に比叡山方式の回峰行を模して修業に励んだと伝えられています。

※回峰行...一日で山中を一周し、千日で終わる修行



YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



周辺のアクセスガイド

山寺までは山形駅から山寺駅まで車で30分。山形駅から山寺まで車で30分。山形駅から山寺まで車で30分。



観光のお問合せ	山寺観光案内所 〒999-33 山形市大字山寺4411 山形市観光案内所 〒990 山形市香澄町1-1-1 びゅうプラザ内	☎0236-95-2816 ☎0236-31-7865
交通のお問合せ	JR山形駅 〒990 山形市香澄町1-1-1 JR山寺駅 〒999-33 山形市大字山寺4273 山形交通バス案内センター 〒990 山形市香澄町3-2-1	☎0236-22-3068 ☎0236-95-2100 ☎0236-32-7272
コースのお問合せ	山形市観光物産課 〒990 山形市旅籠町2-3-25 山形県環境保護課 〒990-70 山形市松波2-8-1	☎0236-41-1212 ☎0236-30-2206

表紙の写真は春の宝珠山立石寺

“新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特徴ある文化や歴史と親しむためのみちです。“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469Kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。

この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- ・そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元元融資を受けてつくられました。